## 地場農産物の直売所「みの一れ」













## 昭和記念公園の砂川入り口に到着







こもれびの池









## こもれびの里 古民家 Konsred Village Ancient 古民家 Replace 古民家 Replace 古民家 Replace Table Replace

こもれびの里は昭和30年代の武蔵野の谷戸のくらしを再現しています。

こもれびの里に参築復元された屋敷は 主屋・長屋門・内蔵・外蔵の4棟で、主 屋、長屋門、内蔵が東京都鉛江市の石井 家から移築され、現在は山川市社を有形 文化財となっています。また外蔵は東京 都あきるの市から移築されました。

こもれびの里は武蔵野丘陵にかつてあった谷戸の農家のくらしを再現したもので、屋敷の裏山から流れ出る湧水が水車を廻し、金場(池)で温められた水用水となって田や畑を潤しています。

昭和30年代まで、武蔵野の農家のくら しは手仕事中心に営まれておりました。







